

御即位大禮奉祝謹話

福 島 愨 雄

四

天地清明、旭光增暉、瑞雲紫紅に映えて今日の佳き日を壽ほぐに似たり、此日、諸君と共に御大禮奉祝の式典を擧げ得るご云ふことは同慶の至りであります。

私共は受け難き生を人界に享け而かも徹聖文武に亘らせらるる 天皇を戴ける大日本帝國の民に生れたご云ふことは全世界の人類に比し一層幸慶であるごを感謝致さねばならぬと思ひます。不肖は大正四年の今月今日は熊本鎮西中學校に於て、先帝御即位大禮の奉祝式を擧げましたが、感極つて萬歳三唱の時は何處から音聲が出たか全く無我であつて自覺しなかつたのである。此時の無我亡我ご云ふごを後に考へて見ますご之れ宗教的感應の狀態であつて自我を没却して全く上御一人に歸一したのであつた、入我我入ごは此の心情であらうご惟ひます。今回は復た御大禮を行はせらるゝ御膝元に於て七日は親しく鳳輦を迎へまつり、龍顏を拜し奉り本日諸君と共に此に萬歳奉唱の光榮に浴しましたごは身に餘る光榮であります。

聖上陛下は昭和元年十二月廿五日、寶算廿有六にして葉山御用邸にて踐祚遊ばされ、直ちに宮中賢所に掌典長をして御奉告の祭典を行はしめ、且つ 皇靈殿、神殿にて歴代の天皇、天神地祇に御奉告せしめられました。御用邸に於かせられては劍璽渡御の儀ご申しまして、草薙の劍及彌榮勾玉の神器御讓受けの儀式を行はせられて天津日嗣の大御位に御即き遊ばされたのであります。東京御遷幸の翌十二月廿八日は宮中正殿に於かせられて文武百官に對し朝見の儀を行はせられて、

朕皇祖祖宗ノ威靈ニ頼リ萬世一系ノ皇位ヲ繼承シ帝國統治ノ大權ヲ總攬シ以テ踐祚ノ式ヲ行ヘリ舊章ニ率由シ先德ヲ聿修シ祖宗ノ遺緒ヲ墜ス無カラントヲ庶幾ン

云々の御勅語を宣らせられたのであります。

我が 天皇は皇祖の皇孫に下し玉へる御神勅 即ち

葦原千五百秋之瑞穂國は是アガウミノミコの王たる可き地也、爾ヌメミマ往てまして治したまへ幸きくましませ、アマツミツギのさかえまさんごは、天壤のむたトコシへなるべきものごこの建國の御理想を體現遊ばさんごを第一義ご遊ばすから、皇祖祖宗の稜威恩顧を仰ぎ萬世一系の皇位を繼承せりごの御信心に基き皇祖の神勅、神武帝以來歴朝の御詔勅や御遺命を遵奉遊ばされ、明治大帝皇考の御聖德を實修致されて、悠久天地ご共に窮りなき萬世一系の帝王たる建國の御理念を失墜しない様に御誓ひ遊ばされたる御信心を我が國民は恐

惶して味得しなければならぬを拜察し奉る次第であります。

天皇の御位に即かせられた時は、此時であります。明治天皇の御叡慮に因り制定せられました、皇室典範に則り、今月今日の吉辰を下し舊都の皇居に於かせられて、午前中には、先づ

賢所大前の儀にて 聖上陛下は春興殿に於て御親ら皇祖大神の神靈に踐祚の旨を御奉告遊ばす敬上崇祖の嚴かなる御式を擧げさせらるゝのであります。

午後は紫宸殿の儀、之は殿内高御座に御昇御在らせられ、八千萬國民及國際國民に向つて、御天職の本分を誥け玉ふの御勅語を宣らせらる、内閣總理大臣は國民を代表して恭しく壽詞を奏し奉り、庭上に降り、三たび萬歳を稱へ參列諸員始め八千萬國民、所は異れども、同時刻に一齊之に和して、億兆一心の赤心を發露するのであります。

十四日夜より十五日早旦に亘り悠紀殿主基殿に大嘗祭として悠紀、主基齋田の御木を以て造られたる御饌、御酒、其他種の供物を、御親ら 天照皇大神初め、天神地祇に供し玉ひて、國土安泰、五穀豊穰、民安かれを御禱り遊ばして御親らも食召し玉ふの御祭儀であります。此寒空に陛下は徹宵而かも二回まで御沐浴遊ばして御更衣遊ばす云ふことであります。寔に恐惶の至であります。

大饗第一日及第二日の儀は御式に參列したる百官優遇者及外國使臣や、國民の代表者等も御供饌の饌酒を俱にする云ふ有難い思召だも承つて居ります。

右述べました様に、此御大禮は敬上慈下云ふ佛菩薩の願行を陛下民に率先して躬行遊ばす、尊い有り難い御式であるを拜察するのであります。

我が帝國の歴朝は皆「スメラミコト」で在らせられます。「スメラミコト」は眞善美を完全に體現遊ばしたる現人神様云ふ意味であります。スメラは至善至美、ミコトは誠、眞理であります。我が佛陀も眞善美の完成者である。佛教中の淨土教は汎神的一神教でありますが、大乘佛教は一切人類は勿論山河大地草木國土悉皆成佛であるから萬有神教即汎神でありますが、淨土教は其佛性を有する萬有が成佛を實現するには阿彌陀一佛の大願業力に頼るのであるから即汎神的一神教なるのである。我が教徒は此教義信仰に養はれる心情を以て、平等中に差別を存し萬民平等觀の上に更に一天萬乘の上御一人を現人神「スメラミコト」を尊崇し億兆一心、豎には君臣の別、横には國民更に進んで全人類共生共榮、國富民安泰平の大御代を仰ぎたいのであります。

時 昭和三年十一月十日午後三時

天皇陛下萬歲 萬歲 萬歲